

朱八校だより 家庭での様子について

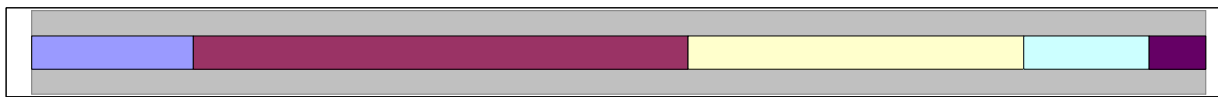
過日実施したアンケート調査結果の報告第2弾です。
今回は、4月、全国で行われた「全国学力・学習状況調査」(6年生のみ実施)結果について、保護者・教職員のアンケート結果も加えながら、切り口を「学習習慣」・「早寝早起き朝ご飯」に絞って分析してみました。
この分析結果を取組の中に生かしていきたいと思っています。

保護者(全保護者)・教職員 [1] そう思う [2] どちらかといえばそう思う [3] どちらかといえばそう思わない [4] そう思わない [5] わからない
児童 [1] とても・よく [2] まあまあ [3] あまり [4] ぜんぜん
「学習状況調査」対象児童(今回は6年生児童のみ)
[1] している [2] どちらかといえばしている [3] あまりしていない [4] 全くしていない

1. 学習習慣について

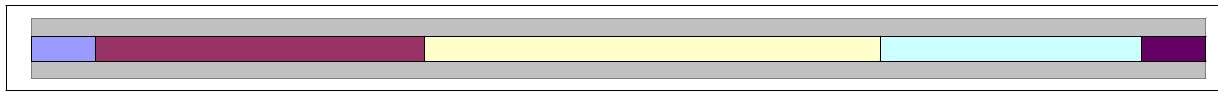
子どもには、十分な学習習慣が身に付いていると思えますか。(保護者・教職員)

全保護者



[1] 14% [2] 42% [3] 28% [4] 11% [5] 5%

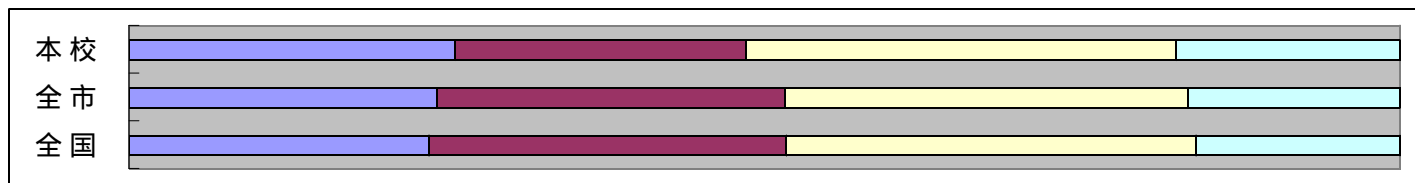
教職員



[1] 6% [2] 28% [3] 39% [4] 22% [5] 5%

6年生児童

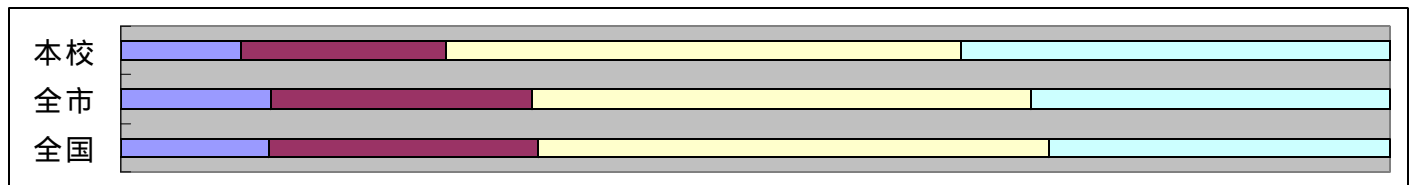
質問事項 勉強する時間を自分で決めて実行していますか



本校 [1] 25.7% [2] 23.0% [3] 33.8% [4] 17.6%
 京都全市 [1] 24.2% [2] 27.3% [3] 31.7% [4] 16.7%
 全国 [1] 23.6% [2] 28.2% [3] 32.2% [4] 16.0%

6年生児童

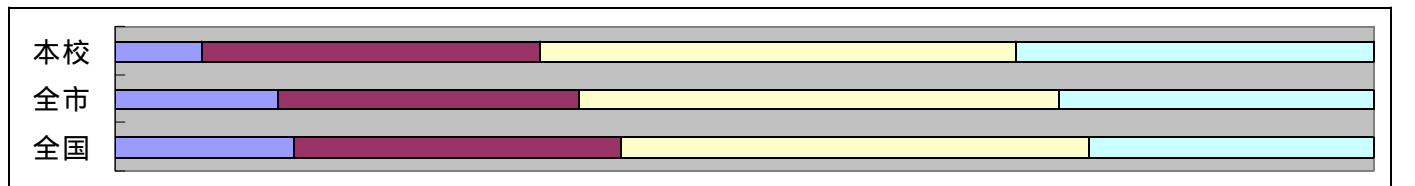
質問事項 家で学校の授業の予習をしていますか



本校 [1] 9.5% [2] 16.2% [3] 40.5% [4] 33.8%
 京都全市 [1] 11.8% [2] 20.6% [3] 39.1% [4] 28.3%
 全国 [1] 11.7% [2] 21.2% [3] 40.2% [4] 26.8%

6年生児童

質問事項 家で学校の授業の復習をしていますか



本校 [1] 6.8% [2] 27.0% [3] 37.8% [4] 28.4%
 京都全市 [1] 12.9% [2] 23.9% [3] 38.1% [4] 25.0%
 全国 [1] 14.2% [2] 25.9% [3] 37.3% [4] 22.6%

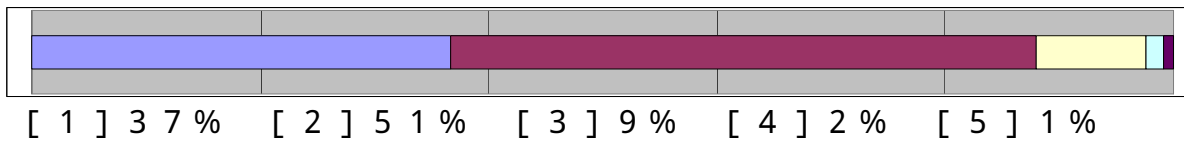
家庭学習については、保護者と教職員の意識が少し違うようです。教職員としては、子ども達に力をつけてほしいという思いから、このような結果になってきていると思われます。

また、6年生の意識調査を見ていくと、自分で時間を決めてという「学習の習慣」は全市や全国と見比べても違いはありませんが、「予習」や「復習」といった内容には少し違いが出てきているようです。今後は、「予習」や「復習」についても家庭学習に織り込んでいく必要があります。

2. 早寝・早起き・朝ご飯について

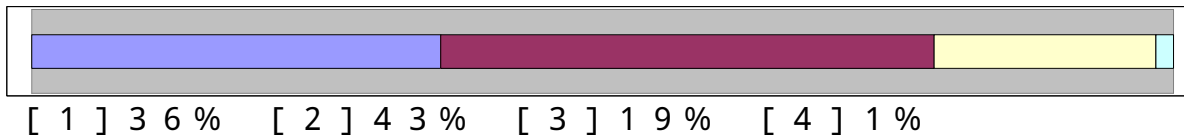
・「ご家庭では、「早寝・早起き・朝ご飯」に配慮されていますか。」(保護者)

全保護者

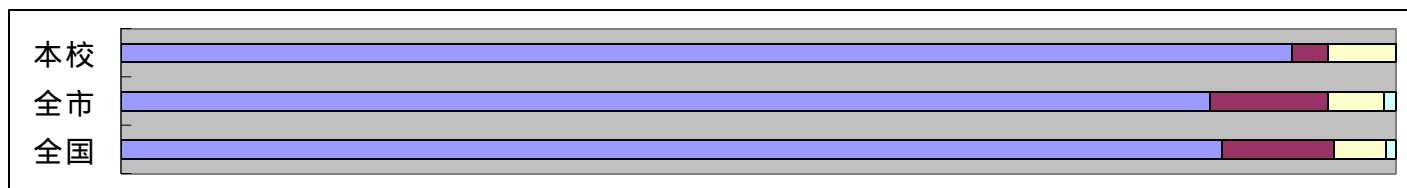


・「あなたは、早く寝て、早く起き、朝ご飯は食べていますか」(児童)

6年生児童のみ

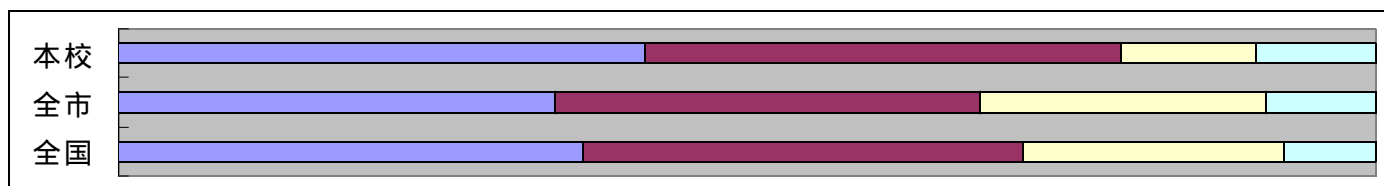


6年生児童
質問事項 朝食を毎日食べていますか



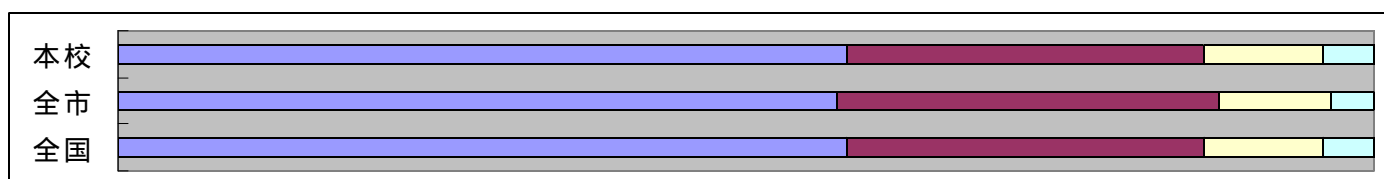
本校	[1]	91.9%	[2]	2.7%	[3]	5.4%	[4]	0.0%
京都全市	[1]	85.3%	[2]	9.2%	[3]	4.5%	[4]	0.9%
全国	[1]	86.3%	[2]	8.9%	[3]	4.0%	[4]	0.8%

6年生児童
質問事項 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



本校	[1]	41.9%	[2]	37.8%	[3]	10.8%	[4]	9.5%
京都全市	[1]	34.7%	[2]	33.9%	[3]	22.7%	[4]	8.7%
全国	[1]	36.9%	[2]	35.0%	[3]	20.7%	[4]	7.3%

6年生児童
質問事項 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



本校	[1]	58.1%	[2]	28.4%	[3]	9.5%	[4]	4.1%
京都全市	[1]	57.1%	[2]	30.5%	[3]	8.9%	[4]	3.4%
全国	[1]	58.7%	[2]	29.8%	[3]	8.3%	[4]	3.0%

朝食については、全市や全国と比較して、よい結果が出ています。ご家庭でのご協力が大きいと思われます。また、本校でのアンケート結果でも、6年生児童ががんばっている姿が見えます。しかしながら、「[3]あまり」という選択肢の割合が大きいことが気になります。できるだけよい生活リズムを整えることが、身体にとっても、また、学習の効果にとっても良いことにつながります。今後ともご家庭のご協力をお願いいたします。

